

熊本市 感染症発生動向調査 速報

現在の流行状況

ヘルパンギーナ・手足口病に注意しましょう！

今年は例年よりヘルパンギーナと手足口病の増加時期が早くなっています。
 どちらも夏場に流行する感染症で、これからさらに増加する可能性がありますので注意が必要です。

【ヘルパンギーナ】

潜伏期間：2～5日

症状：発熱（38度以上、時には39度～40度近い高熱を発症するケースも）、口腔内の口内炎や水疱、咽頭炎

【手足口病】

潜伏期間：3～5日

症状：手や足や口の中にかゆみや痛みを伴わない水疱性発疹

どちらの病気も、ほとんどの場合経過は良好ですが、まれに髄膜炎や心筋炎を起こすことがあります。特に、ぐったりしている、強い頭痛・嘔吐を伴う発熱が2日以上続く、などが見られた場合は医療機関を受診するようにして下さい。原因となるウイルスにはいくつかの型があり、何度もかかってしまうことも珍しくありませんので、予防対策をしっかり行いましょう。

【感染予防のポイント】

ウイルスは、患者の鼻水や唾液、便などに存在し、回復しても数週間は、便中にウイルスが排出されます。一般的な予防は手洗いをしっかりとすること、排泄物を適切に処理することです。外出後、食事の前やトイレの後は、流水と石鹸で十分に手を洗い、タオルの共用はしないようにしましょう。

期 間		第20週		第21週	
		5/12～5/18		5/19～5/25	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ		18	0.72	13	0.52
RSウイルス感染症		1	0.06	0	0.00
咽頭結膜熱(プール熱)		6	0.38	12	0.75
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		44	2.75	39	2.44
感染性胃腸炎		152	9.50	117	7.31
水痘(みずぼうそう)		14	0.88	9	0.56
手足口病		29	1.81	26	1.63
伝染性紅斑(りんご病)		0	0.00	1	0.06
突発性発疹		18	1.13	11	0.69
百日咳		0	0.00	0	0.00
ヘルパンギーナ		39	2.44	29	1.81
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)		2	0.13	11	0.69
急性出血性結膜炎		0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)		21	4.20	7	1.40
細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎		0	0.00	1	0.20
マイコプラズマ肺炎		1	0.20	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)		1	0.20	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)		2	0.40	4	0.80